

AI時代の国家公務員の在り方に関する検討会の開催について

資料 1

AI技術が急速に進展し、「人とAIの協働」による新たな社会の実現が求められる中、人口減少社会において効果的かつ効率的な行政を維持し、より一層高度化するためには、公務におけるAIの活用が不可欠。実際に生成AI「源内」の活用が開始されるなど、国の行政機関においてAIの活用が進行しており、国家公務員の仕事の在り方についても変革が迫られている。

このため、本検討会において、AI時代における仕事の変化を踏まえ、国家公務員に求められる人材像やスキル、それらを踏まえた人材育成方法やマネジメントの在り方等について検討・整理する。

構成

座長	梅崎 修	法政大学キャリアデザイン学部・法政大学大学院地域創造インスティテュート 教授
構成員	石井 大地	株式会社グラフィアー 代表取締役
	石原 直子	株式会社FutureWork研究室 代表取締役
	小田 勇樹	慶應義塾大学法学部政治学科 准教授
	竹内 達也	ボストンコンサルティンググループ合同会社 マネージング・ディレクター & パートナー 組織・人材グループ日本共同リーダー
	橋本 賢二	株式会社インディードリクルートパートナーズ リクルートワークス研究所 研究員

論点例

- ・AIが国の行政の業務に与える影響
※公務におけるAIの活用・AIによる代替、人とAIの役割分担など
- ・AI時代の国家公務員に求められる役割・能力
- ・AI時代の国家公務員の育成・確保の在り方
- ・AI時代の国の行政組織における意思決定の在り方

スケジュール

第1回会合を令和8年8月17日（月）に開催。
合計5回程度の開催により、令和9年1月を目途に取りまとめを目指す。